

図 -4 エリアゾーニング

(4)トータルデザインのためのキーワード設定

1) エリアの整備キーワード

- ・各エリアにおいて、景観及びソフト展開など空間の統一性を図ることで、エリアの独自性を演出し、来園者が次々と移り変わるエリアを楽しみながら、回遊することを目的として、整備キーワードを設定する。
- ・愛知万博では、森の精であるモリゾー、キッコロがキャラクターとなった。キッコロには仲間として、自然の要素の精として、カラーキッコロが生まれた。「あいち・花と緑の報告祭 ~ モリゾー・キッコロを迎えて~」をストーリーとするあいちフェアでは、カラーキッコロの内、花や緑等の植物が生育するために必要な環境に関連が深い精を整備キーワードとし、空間のデザインに取り込む。
- ・植物が生育するためには、土、水、光、養分が必要となる。自然界における養分の供給は、落葉等がさまざまな土壌動物や微生物類の働きによって腐らされ、土壌を豊かに育む。
- ·そのため、カラーキッコロの内、茶色(土)、緑色+オレンジ(木の実と葉)、黄色(光)、水色(水) を、各エリアの整備キーワードとして設定する。

表 -6 カラーキッコロと植物の関係

		で 0 カン 「プロロ目的の例が
カラーキッコロの色	精の分類	植物の生育との関係
ピンク	花	子孫を残すための手段
茶色	土	土中に根を張り、養分や水分、空気等を吸収
オレンジ	木の実	子孫を残すための手段
緑色	木の葉	光合成を行い、光エネルギーを化学エネルギーに変換 落葉後は、分解され養分に変化
黄色	光	光合成を行うためのエネルギー
水色	水	植物の細胞(原形質)の主要素 水と二酸化炭素から光合成して酸素を放出
紫色	鉱物	

花は、会場全域で展開するため、整備キーワードとして特定のエリアでは採用しない。

·各エリアの現況の自然環境や地形、活動内容等のポテンシャルと照らし合わせ、エリアごとに 以下のキーワードを設定する。

表 -7 エリアの整備キーワードと愛知の特色

エリア	整備キーワードと 各エリアの現況ポテンシャル	整備 キーワード
農のエリア	「あいちサトラボ」として土づくりから農を展開	±
緑の贈りもの エリア	日の出、日の入りの東西方向に伸びる谷	光
水辺のエリア	会場内で最大の水辺である「こいの池」	水
創造のエリア	ハナモモの列植等の樹木が印象的な空間	木

- ・「地球市民のエリア」は、各エリア内で最も高い場所で、空が印象的に見える場となる。愛知万博では地球大交流をコンセプトに、世界中の地球市民が交流した。この理念と成果を継承し発展する核となる地球市民交流センターが市民参加、交流活動の拠点となっている場でもある。あいちフェアでも、地球市民の活躍を期待し、世界中をつないでいる「空」を整備キーワードとする。
- ・「センターエリア」は、会場内で最も広い空間となり、休憩や飲食、ステージを利用した催事等を 行う場となる。残暑が残る9月からの会期に、多くの来園者が憩い、活動する空間の中で、爽や かな風を感じる心地よい環境を創出することを目指し、整備キーワードを「風」とする。

表 -8 エリアの整備キーワード

エリア	整備	意図
	キーワード	
地球市民の エリア	空	最も高台で、空が印象的に見える場 世界とつながる空のもと、地球市民が活躍
センターエリア	風	憩いと活動の場に爽やかな風を感じる心地よい環境を創出

2.エリアの整備方針

2-1. 地球市民のエリア

- ・愛知万博は、「地球大交流」を合言葉に、人類が直面する地球的課題解決に貢献するという使命を負って開催された国際博覧会であった。2010年の地球市民交流センターのオープンに際し、愛知万博を経験した地球市民により、「私たちひとりひとりが地球市民として、立場、考え方、世代、地域や国を超えて、連携、連帯し、持続可能な社会をつくるための多様な交流と学びの場を創る」という「地球市民宣言」が行われた。
- ・二酸化炭素の排出量抑制は、地球的課題のひとつとである。吸収源としての緑や、モノづくり 大国愛知の技術は、課題解決に向けた希望となっている。
- ・地球市民のエリアでは、世界とつながる空を整備キーワードとして、デザインの展開を検討する。
- ・世界とつながっている空の広さや美しさを体感できる景観づくりを検討する。

表 -9 エリアのメッセージと展開方針

整備キー ワード	メッセージ	景観展開	機能展開
		空の広さ、美しさを演出	花や環境技術の展示、環境 学習の展開拠点
空	「おいしい空気を いつまでも」	・北エントランスからの空を 印象的に見せる演出 ・空の景が美しい地球市民 交流センターの活用	・花、バイオミミクリー展示や芸術と技術の展示・エコライフにつながる環境学習の展開

表 -10 展示コンテンツと展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
フラワー ラング	・愛知万博のバイオラングの進化形として花による緑化壁展開・エントランスから空を感じるよう、空に伸びる形態	10m × 6m × 6m	主催者 等
アート ウォール	・万博の思い出写真、絵画、書等による、花と緑に関連した壁面展示・「空」→「土」と「空」→「木」では、エリアのテーマを踏まえた異なる展開・会場の全景や駐車場等を遮蔽し、ループ園路を回遊することで生まれる景のシークエンスを感動的に演出する効果を付加・企業広告を募集	高さ2m程度	主催者 企業 等
グリーン ウォール	・フラワーラング周辺等において、花を利用した緑化壁展示・コンテスト方式、展示形式等を今後検討	高さ2m程度	主催者 企業 等

(3)催事関係施設(案)

表 -11 催事関係施設と展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
	・愛知万博からの取り組みの成果の発	30m2×5 ブース	NPO 等
愛知万博の	表展示(屋内型)	程度	
足跡展示	・地球市民交流センターの半屋外空間		
	等を使用		
	・多目的室 1~4 を利用	66m2 85m2	主催者、NPO、
体験教室	・あいちフェアでの体験プログラムを提	92m2	企業、学校
	供	99m2	等

(4)管理運営・営業施設

表 -12 管理運営・営業施設と展開イメージ

衣 - 2 官理連昌・呂耒旭設 C 展用 1 メーン			
名称	展開イメージ	規模	整備主体
	・地球市民交流センター内体験学習室を	380m2:体験学	主催者
事務局運営本部	利用(※1)	習室面積	等
于初心在古不印	・40 人程度の執務スペース		
	・放送設備は、既存の放送設備利用		
	・急病や怪我等に対応	20m2 程度	主催者
医務室	・地球市民交流センター内会議室を利用		等
	(救急車への搬入、トイレの近さに配慮)		
	•体育館更衣室、体験学習室(運営本部	_	主催者
ギニシニッマ	との供用)、花の広場休憩室等を利用		等
ボランティア	・ボランティア人数に応じて、適宜スペー		
控え室	ス確保		
	・ロッカーなど貴重品管理に配慮		
ツフコト.カロ	・総合案内所を利用(公園案内と兼用)	100m2:総合案	主催者
迷子・レンタル	・車いす、乳母車のレンタル、迷子の案内	内所面積	等
数は明反抗に安	・警備員室、休憩室を利用	40 m 2 : 警備員	主催者
警備関係控え室	・警備関係者の控え室	室、休憩室面積	等
インフォメーション	・ループ園路沿いに整備	30m2 程度	主催者
インフォバーション	あいちフェアの案内		等
ニノクマムし参会	・食の広場周辺に配置	30m2 程度	主催者
テイクアウト飲食			営業者 等
既存物販	・既存の物販施設を利用	_	公園管理者
	・食の広場周辺に配置	30m2 程度	主催者
一般物販	・万博関連グッズやフェアグッズを販売		営業者
43. + + + + + + □ □	・食の広場周辺に配置	50m2 程度	主催者
緑花物販	・切花や鉢花、観葉植物等を販売		営業者

¹ 運営本部及びボランティア控え室については、地球市民交流センターの体験学習室が、行催事等の利用を見込める場合は、別途、設置することを検討する。



2-2. 農のエリア

- ・あいちサトラボでは、「あいちサトラボ里山開拓団」が、農の営み、先人の知恵、自然の循環を キーワードにして、土づくりから里地里山を育成している。
- ・愛知県では、温暖な気候や豊かな水に恵まれ、古くから農業が盛んで、花以外でも、キャベツ、ふき、大葉、いちじく等が日本一の生産量を誇っている。
- ・農のエリアでは、土を整備キーワードとして、昔から育まれてきた愛知の農、自然景観や文化 景観を演出することを検討する。
- ・その景観づくりを通して、「大地が恵む、実りへの感謝」という、農業が盛んな愛知の自然風土 への感謝や県内農産物の素晴らしさを伝えるメッセージを発信することを検討する。

表 -13 エリアのメッセージと展開方針

整備キー ワード	メッセージ	景観展開	機能展開
		昔から育まれてきた農風景	愛知の農の素晴らしさや自 然の美しさを伝える展示
±	「大地が恵む、実りへ の感謝」	・あいちサトラボの農風景を 基盤にした農風景を演出 ・愛知の自然の美しさを伝え る演出	・あいちサトラボにおける土づくり活動・自然の恵みへの感謝を表す祭りの展開・循環型農業や大切にされてきた自然風景の展示

表 -14 展示コンテンツと展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
	・サトラボの田んぼ沿い、畑沿いの修景	_	NPO 等
実りの秋修景	・あぜ道の彼岸花等による農風景演出		
	・秋の七草等の農風景の演出		

(3)催事関係施設(案)

表 -15 催事関係施設と展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
祭りの広場	 ・県内各地の村祭りの催しを展開 ・お祭りの出店等を展開 ・愛知の自然風景の PR ・各地の村祭りの PR ・市町村や農業団体による愛知の野菜や穀物など、産物の PR 	2000m2 程度	市町村 農業団体 等
農家の庭先展示	・高度成長期前の昭和30年代の循環型 農業が展開されていた頃を展示 ・むしろを引いて大豆たたきや、庭先の 牛等の農の光景を展示 ・竹馬や竹とんぼなど、自然資源を活か した昔の遊びの展開	200m2 程度	NPO 等
あいちサトラボ 活動の足跡展示	・愛知万博からの取り組みの成果の発表展示(屋外型) ・竹を利用した展示用雨よけをみんなで作成	_	NPO 等

(4)管理運営・営業施設(案)

表 -16 管理運営・営業施設と展開イメージ

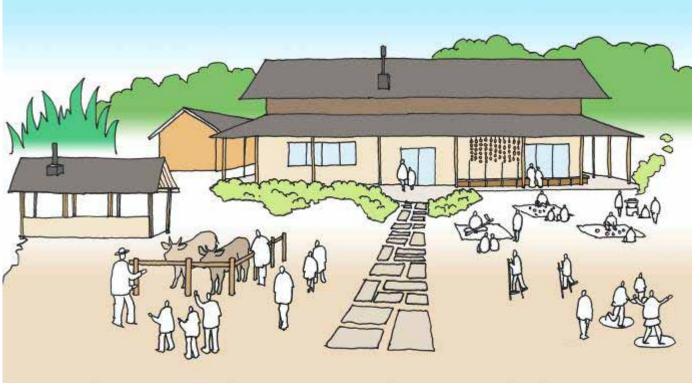
名称	展開イメージ	規模	整備主体
トイレ	・祭りの広場周辺に配置	40m2 程度	主催者
MD	・トイレの配置密度が低いため、仮設整備		
テイクアウト飲食	・既存建築を利用	_	主催者
ノインアンド以及			NPO 等
テイクアウト飲食	・祭りに合わせた各市町村等の農産物や	_	市町村
ナインアリト以及	海産物の販売		等
一般物販	・既存建築を利用		主催者
一板物规			NPO 等
43. ### ₽⊑	・既存建築を利用	_	主催者
緑花物販	・野菜の苗や種を販売		NPO 等



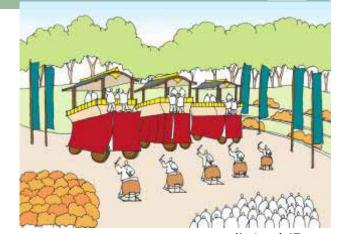
実りの秋の展示



あいちサトラボの足跡展示



農家の庭先展示



祭りの広場

図 -6 農のエリア展開イメージ

2-3. 緑の贈りものエリア

(1)デザインの展開について

- ・光は、人間の目を刺激して明るさを感じさせるものである。そのスピードは速く、宇宙における最大速度であり、遠くまで瞬間的に明るさを伝えることができる。また、太陽光は地球上の生きものの多様な活動や進化を助け、地球上の人間を含めた生きものにとって欠くことができないものである。
- ・愛知万博から 10 年経過し、愛知万博の年に生まれたこども達は 10 歳になった。あいちフェアは、愛知万博を体験したこども達に限らず愛知万博を知らないこども達にも、愛知万博で学んだ自然への想いを伝える大切な機会である。
- ・緑の贈りものエリアでは、遠くまで瞬時に届く光を整備キーワードとして、多くのこども達に「私たちを照らす光、より遠くへ届け」という、愛知万博で享受できたような自然への想いが、再び感じられるようなメッセージを発信することを検討する。
- ・自然への想いを込めて自然の美しさが感じられる景観づくりを検討する。

表 -17 エリアのメッセージと展開方針

整備キー ワード	メッセージ	景観展開	機能展開
	「私たちを照らす光、よ	光に照らされた自然の美しさ を演出	こども達に自然への想いを 伝える展示
光	り遠くへ届け」	・花や緑の美しさを演出	・こどもを主対象とした展示・愛知万博で受けた感動を 再び感じられるような展示

(2)展示コンテンツ(案)

表 -18 展示コンテンツと展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
こども達への 贈りものの庭	・交流により創造する、新しい価値観の 庭	_	主催者等



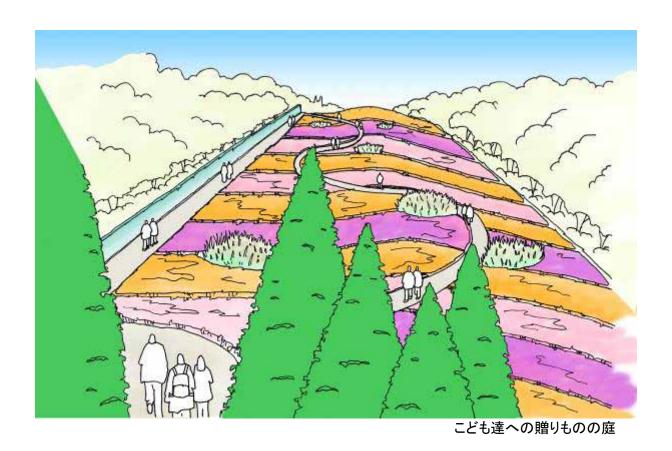


図 -7 緑の贈りものエリア展開イメージ

2-4. 水辺のエリア

- ・愛知には、伊勢湾に流れ込む木曽川や庄内川、三河湾に注ぎ込む矢作川や豊川等の河川と海があるとともに、愛知用水や豊川用水等の用水路があり、暮らしの様々な場面で水の豊かさが感じられる地域である。
- ·水辺のエリアでは、水を整備キーワードとして、愛知の水の美しさを背景にした景観づくりを検討する。
- ・その景観づくりを通して、「豊かな水を未来へつなぐ」という、愛知県の豊かで美しい水環境が、 健全な状態で未来へと引き継がれていくことを目指したメッセージを発信することを検討する。

表 -19 エリアのメッセージと展開方針

整備キー ワード	メッセージ	景観展開	機能展開
		水の豊かさ、美しさを表現	水を活かした多様な庭のス タイルを展示
水	「豊かな水を未来へつ なぐ」	・水辺の植物演出でみずみずしさを演出・西エントランスからこいの池の景を印象的に演出	・全国各地の水にまつわる 風景の展示・アートと一体となった水の 風景を展示

表 -20 展示コンテンツと展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
花のカスケード	・こいの池沿い散策路の壇上の既存地	_	主催者
	形を活用して、カスケード(壇上の滝)		企業
	の水のように花が溢れる花壇を展示		等
	・企業の出展点数に応じて、企業の出展		
	展示としても活用を検討		
花しずく	・各地の自治体(都道府県、政令市)に	30m2×22 程度	都道府県
(都道府県·政令	よるお国自慢の花と水の風景の庭		政令市
市)	・水面に水滴が落ちて生じる輪のような		等
	腰壁の中に、風景を濃縮		
	・既存斜面花壇(動線形態や既存樹木		
	による景の分断の改善)やこいの池と		
	の景観的連続性に配慮		
花しずく	・花と緑を利用したアートの庭園	30m2×10 程度	企業
(企業)	・水面に水滴が落ちて生じる輪のような		等
	腰壁の中に、風景を濃縮		
	・企業の緑化資材や庭園の出展		

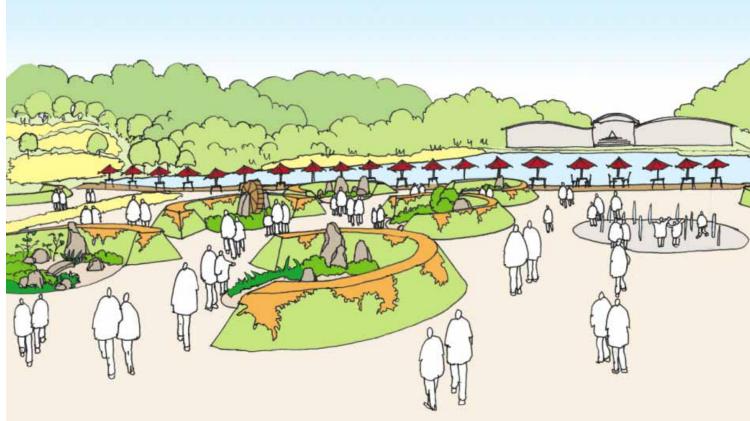
(3)管理運営・営業施設(案)

表 -21 管理運営・営業施設と展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
警察関係詰所	・西口休憩所2階を利用	60m2 程度	主催者
	・警察、警備、消防等の控室及び拠点		
レンタル	・西口休憩所1階を利用(公園案内と兼	100m2 程度	主催者
	用)		
	・車いす、乳母車のレンタル		
インフォメーション	・ループ園路沿いに整備	30m2 程度	主催者
	あいちフェアの案内		
テイクアウト飲食	・西エントランス広場周辺に配置	30m2 程度	主催者
	・水辺のデッキ周辺に休憩飲食用パラソ		営業者 等
	ルの設置		
一般物販	・あいちアートスクエア周辺に配置	30m2 程度	主催者
	・万博関連グッズやフェアグッズを販売		営業者 等
緑花物販	・あいちアートスクエア周辺に配置	50m2 程度	主催者
	・切花や鉢花、観葉植物等を販売		営業者 等







花しずく

図 -8 水辺のエリア展開イメージ

2-5. 創造のエリア

- ・人間に比べ、「木」の寿命は、はるかに長い。今現在生育している木の多くは、我々よりも、はるか未来まで、愛知の姿を見続ける。
- ・海上の森に住む「森の精」であるモリゾー、キッコロは、縄文時代から愛知の森を見続け、未来 の森の姿も見続ける存在である。
- ・創造のエリアでは、愛知の未来の花や緑、環境を提案、創造するエリアとして、未来まで愛知を見守る「木」を整備キーワードとする。
- ・「モリゾー、キッコロが住み続ける愛知を目指して」という、日常の生活空間の中に、様々な工夫により魅力的な花や緑の風景を増やし、緑豊かな愛知が想像されていくことを目指したメッセージを発信することを検討する。
- ・多くのモリゾー、キッコロが集う中で、多様な協働の創作活動により、徐々に花や緑が豊かになっていく景観づくりを検討する。
- · 勾配のある主園路を舞台に、パーソナルモビリティの乗車体験や、管理運営面での利用による 未来の光景づくり等を検討する。

表 -22 エリアのメッセージと展開方針

整備キー ワード	メッセージ	景観展開	機能展開
		モリゾー、キッコロが集う中 で未来を感じる風景や景の 変化を演出	生活空間に花緑を増やす 様々な工夫の展示
木	「モリゾー、キッコロが 住み続ける 愛知を目指して」	・学生が活動している風景・たくさんのモリゾー、キッコロが到る所に点在する景を演出・未来の乗り物が花や緑の中に走る風景	・万博の想い出の展示 ・森づくり活動等の展示

表 -23 展示コンテンツと展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
未来の庭	・花や緑、環境の視点から未来を担う学 生が、愛知の未来の庭づくりの提案を	30m2×5 程度	大学 高校
不不 切庭	行う展示		等
	・愛知万博のバイオラングの進化形とし	幅 4m×20 区画	企業
	て花による緑化壁展開	程度	アーティスト等
花の緑化壁	・住宅の玄関のエクステリアの壁やマン		
	ションのベランダ内壁面等の修景シス		
	テムとしての提案		
	・ビル外壁等の大規模建築への提案		
	・ハナモモの整形庭園に、モリゾー、キッ	約 5000 鉢程度	主催者
	コロに形状の似た鉢を展示		等
モリゾーキッコロ	・フェアでの体験活動に参加して、ポイン		
大集合	トが貯まるとモリゾー、キッコロの鉢植		
	えがもらえ、街中へとモリゾー、キッコ		
	ロが繰り出し、街が緑となっていく展示		
	・ハンギングバスケットや寄せ植えの展	_	花ボランティア
	示		NPO
成長の庭	・参加活動によって、花修景が増加しど		等
(大花壇・	んどんと華やかになる展示		
花の広場)	・花ボランティアがこれまで大切に育てて		
	きた花壇の花をボリュームアップした		
	展示		

(3)催事関係施設(案)

表 - 24 催事関係施設と展開イメージ

名称	展開イメージ	規模	整備主体
名称 未来の庭 作庭過程展示	展開イメーン ・花や緑、環境の視点から未来を担う学生が、愛知の未来の庭づくりの提案を行う展示 ・庭を徐々につくりあげる工程を楽しめる展示 ・当初は図面やスケッチの展示から、工程を書き込み、来園者に期待を持たせ	規模 30m2×5 程度	大学高校等
	ながらイベント的に展開		

(4)管理運営・営業施設

表 - 25 管理運営・営業施設と展開イメージ

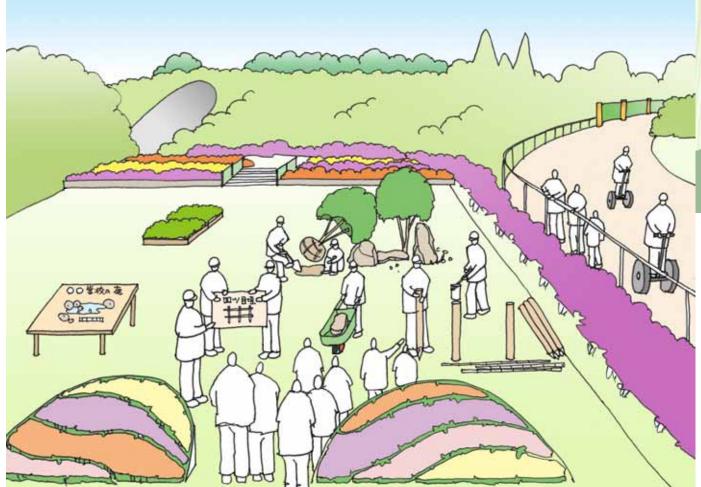
名称	展開イメージ	規模	整備主体
花ボランティア	・既存の花ボランティア控え室の活用	_	公園管理者
控え室			等
テイクアウト飲食	・既存飲食(スガキヤ)利用	_	公園管理者
一般物販	•既存店舗利用	_	公園管理者
	・万博関連グッズやフェアグッズを販売		等
緑花物販	•既存店舗利用	_	公園管理者
	・切花や鉢花、観葉植物等を販売		等



モリゾーキッコロ 大集合 東来の庭

でで、地球博記念館

花の広場



未来の庭(作庭過程展示)



図 -8 創造のエリア展開イメージ